

家庭数

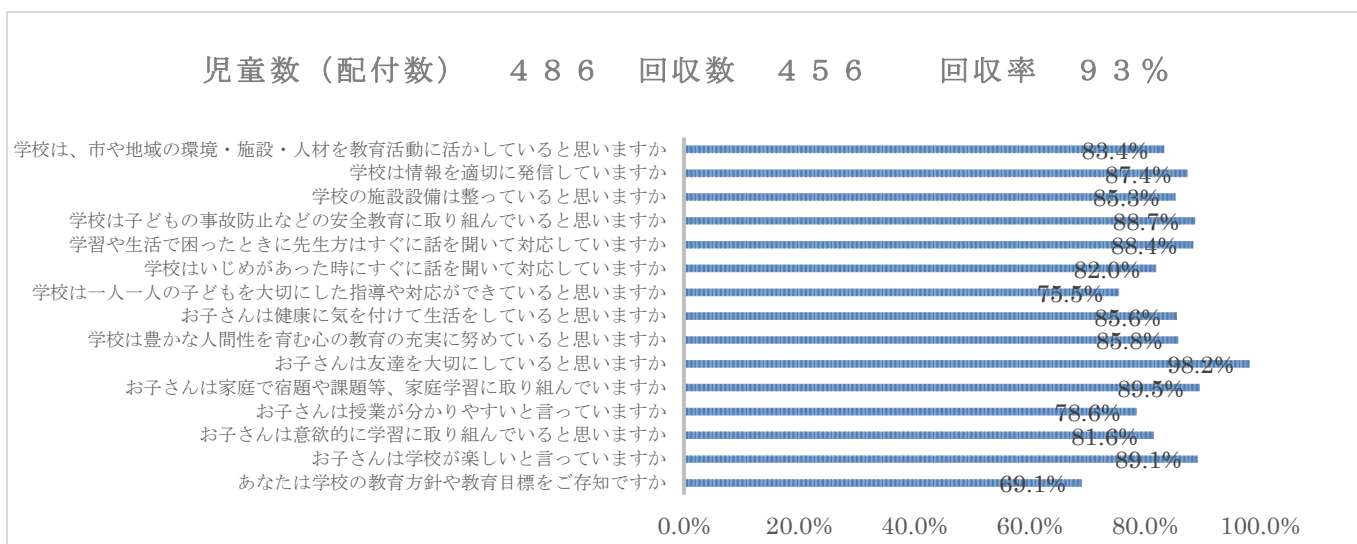
保護者様

印西市立いには野小学校
校長 増田 洋子

学校運営アンケート集計結果 について

残寒の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

このたび、集計結果について概要がまとまりましたので、以下の通りお知らせします。



- ・「教育方針・目標」については、昨年周知率6割から7割弱へと改善が見られました。今後も周知のための方策を探っていくようにしたいと考えています。
- ・「学校が楽しい」については、変わらず高い評価をいただきました。今後も子どもが楽しく過ごしていけるよう取り組んでいこうと考えています。
- ・「安全教育」についても高い評価をいただいておりますが、今後も見守りをしてくださっている地域の方との連携、ボランティアの新規募集も含めて、更に工夫改善をしています。
- ・「一人一人の子どもを大切にされた指導・対応」については、2年間改善傾向にあります。本年も他の項目に比して低い値となりました。他機関との連携や、個別指導・ケース会議や就学指導と共に、生徒指導等の共通理解もさらに充実していく必要があると考えます。

学校運営アンケート自由記述

たくさんのご意見をいただきました。この一覧には、学校運営に関わる内容について記載しました。

- 朝の読み聞かせの時間が10分から15分に延長され、とても有意義な時間を過ごせるようになりました。調整していただきありがとうございます。
- 担任の先生とのコミュニケーションがとりやすいと感じた。
- 保護者として学校運営には十分満足しております。引き続きよろしく申し上げます。
- 学校のHP、いつも楽しい記事を掲載して頂き楽しく閲覧しています。手間も労力もかかるとは思いますが、続けていただけるとありがたい。この学校って楽しいんだな、通わせてよかったと思っています。
- HPがこまめに更新されていて、他学年の様子も含めとても良い取り組みだと思います。
- 学校のホームページの更新が遅い。遅すぎて情報が分からない。
- 毎日喜んで通っています。温かいご指導をありがとうございます。
- とても先生が親身になって子供の相談にのっていただいております。安心して学校に通っております。また、個別に時間を作って子供と向き合っている姿に感謝の気持ちでいっぱいです。
- とても親しみが感じられる学校です。地域に開かれた構造的なものもありますが、先生方が子供の目線、親の目線で関わってくださっていると常に感じています。
- 担任の先生はものすごく子供を気にかけてくれている。本当にありがたいことです。一学期は不安だったことを一つ一つ向き合ってもらっていただきました。ありがとうございます。
- 駅伝練習に休みが一日もないのは問題だと思います。マラソン練習と重なる時期もあり、体への負担が心配です。せめて、週1、2回の休養が必要と考えます。
- 授業以外の委員会や部活動が忙しく、大きな行事があればその練習の毎日で高学年は特に毎日忙しすぎるように思います。音楽委員は休み時間も活動があるようで、そこまでやらなくても良いのでは？と感じます。もう少しゆとりのある学校生活を希望します。改革が必要です。
- 子どもの苦手や得意ななどをみってくれるのでありがたいです。

裏へ続きます

- 担任の先生が専門とする教科とそうでない教科でクラスごとの授業の質も差がでてしまうので、主要教科は教科担任制を検討してほしい。
- 担任の先生の授業が面白いようで、苦手教科が得意教科になった。充実した授業を全ての子が受けられるよう工夫してほしい。
- 家庭学習、宿題について（塾に行っていない子には量が少ない）もっと積極的に課題を出してほしい。授業のわかりやすさは先生によってかなり差があると言っています。
- 子どもの教育のためにも校内、教室をもっと整理整頓していただきたいです。
- 雨もりとトイレを直した方がよいと思います。
- 体育館のシャッターを開閉しやすいように直してほしい。体育館入口上のコンクリート部分がすごいほこりなので何とかしてほしい。グリーンサンドの運動時は子どものけがに注意してほしい。
- 学校で配布された手紙をホームページでも見れるようにしていただけると助かります。
- 来年度（5年生）のクラス編成ですが、3クラス少人数制を希望します。
- 欠席、遅刻連絡をオンラインのシステムを使ってできるようにしてほしい。FAXをつかっている家庭は少ないのでは。
- 食育が大切なことだとは分かっています。給食の残飯を減らしたいということも分かっています。ただ、どうしても食べられないものがある子もいると思います。ひとくち食べようとチャレンジしても本当にムリなものもあります。本人が苦痛になったり、不安にならないような給食の指導をお願いします。
- 給食の指導に疑問。楽しく食べられれば十分だと思います。子供が苦痛を感じてしまうような指導はすべきではないと思います。時間も短すぎると思います。
- 先日の連絡メールについて、不審電話が市内学童クラブにあったとのことで、いには野小では「一人帰りは認めない」という方針でしたが、再徹底の程、宜しく願います。
- 学校からのメールで不審者情報が頻繁に送られてくる今の時代に、フェンスなどの囲障がいには野小にはありません。正直驚いています。事が起きてからでは遅いと思います。文部科学省のHPにも囲障を計画することが重要であると明記されています。子どもたちの安全のために、1日も早い対応を望みます。
- 台風による被害が多い年でしたが、子供達が学校にいる時に警報が出た時の安全確保について具体的に考えるべきだと思います。大雨の中迎えに行く大人も怖い思いをしました。
- 登下校の安全面が少々心配。不しん者等多いため。
- 運動会を5月に開催してほしい。9月は天候が安定しないことが多いので。家庭訪問をなくしてほしい。仕事をしながらこの為に時間を作るのが大変。
- マラソン大会の時、ゴール付近（すぐ近く）まで、応援の保護者がたくさん集まっていました。先生の指示が子どもに届かなかったり、万一不審者がまぎれていたりということを見ると、保護者の観戦スペースをもう少しコースから離れたところに限定しても良いかなと思いました。
- P T Aの活動は仕事で困難となる方が多いので、強制はもうやめた方がよいと思います。清掃やベルマークの集計も講習会運営も、P T Aが行う意味が分からない。P T Aで話すことかもしれませんが。
- 義務教育にP T Aが強制はおかしい。親にも負担大。P T Aは廃止してほしい。シルバーの方を雇い、各世帯から料金徴収して、親の負担を軽減すべき。
- P T A活動がさかんで驚きました。組織もしっかりしていてすごいです！その分、役員の数がとても多いようですが、児童数は今後減少すると聞きます。20周年を機に活動内容を精選して役員の数を見直したり、負担を軽減したりしても良いのではないかと思います。
- 運動会の時、地域の年配の方は、休憩中にたばこを吸わないでほしい。小さなお子さんも通る道ですから、我慢してほしいかったです。

学校関係者評価委員からの主な意見

- ※2月17日(月)に民生・児童委員、安全パトロール隊、明日会運営委員の方にお集まりいただき、学校運営アンケートを基に意見交換会を行いました。
- 教員が忙しい中、プログラミング教育・英語教育など学習内容の増加が子どもと先生に負担感をもたせていないか。これを学校としてどう考え、どう実践するのか。また、家庭がどう関わっていくのかも考える時期に来ているのではないだろうか。
 - 交通安全については、引き続き地域で見守っていきたいと考えているがそれを担う人数が減少している。ボランティアをどのように増やしていくか、また保護者の協力をどのように求めていくかを考えなければいけない。
 - あいさつができない児童が3割くらいという印象である。今後も学校と歩調を合わせて指導や声かけをしていくことが必要である。
 - 学校行事等への協力を地域にも求めていきたい。そのために自治会とどのようにつながるかということも検討課題であろう。
 - 協力の求め方については行事ごとに地域への募集をかけるのも一手ではないか。そのためにこまめに情報を出すこと、協力のための提出文書を複数枚届け、とりやすくすることなども必要ではないか。
 - 災害時の対応について、メールが届かないなど情報伝達の仕方が問題であるがどうか。
⇒年度初めに保護者に配付する災害時対応に沿って行うが、想定場面を増やす必要があると考える。
 - 災害時に学校へ児童を残すのであれば、児童用の備蓄を考える必要もあるのではないか。P T Aで可能な部分について取り組むとのことだが、市へ要請を出すことも含めて検討してほしい。
 - 学校の活動を知るためのP T Aという側面もある。保護者と学校をつなげる一つの手段として、また地域とのつながりを作る一歩として、P T Aを大事にしていけるように広く知らせていくべきではないか。